

症例報告 13

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の 1 つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

患者の概要

患者は 53 歳の男性で、活動的な自営業のビジネスマンです。憩室炎の診断を新たに受けて入院し、退院後も抗生剤の投与が続けられました。低位前方切除術 (LAR) を受けるため再入院しましたが、結果的に、LAR と一時的なループ式回腸ストーマ造設が行われました。入院中、毎日会う WOCN から 5 日間のストーマ指導を受けました。退院時は、二品系平面型面板 (長期装着用、フリーカット) を使用していました。ストーマ装具の定期的な交換を在宅ケアサービスに委託することを希望しました。

最初の自宅訪問時、病院で受け取った二品系ストーマ装具を使用していました。腹部は硬くて丸く、正中創が未治癒の状態でした。切開部に沿った 2 つの開口部から、中等量の漿液性血性排液が排出されていました。創傷被覆材 (ハイドロファイバー) を創傷に貼り、創傷は 10 日で治癒しました。

ストーマ開口部は中央にあり、まっすぐでした。患者はストーマ装具を 3 ~ 4 日間装着していました。採便袋から便を排出しますが、面板の交換については、「自分は何もしない」ことを望んでいました。面板はそのまま使用を継続し、WOCN が週に 2 回交換していました。最終的に仕事に復帰し、家族の行事にも参加できるようになりました。

問題

定期的なストーマ装具の交換時、WOCN は、粘膜皮膚接合部の周囲の皮膚の 5 時から 10 時の位置に炎症があることに気づきました (写真 1)。皮膚は赤くなり、浸出液が出ていて、わずかに水泡を形成し、かゆみを訴えました。ストーマが腸の蠕動により、皮膚の高さまで陥没していることが認められストーマ近接部の面板の下に便が入り込んでいました。

裏に続く



写真 1 粘膜皮膚接合部の周囲の皮膚の炎症



写真 2 3 週間後のストーマ周囲の皮膚。

セラプラス™

*リモイス技術使用

寄稿者および略歴

Laura Benedetto-Rugen
BSN, RN, CWOCN
North Shore University Hospital
ニューヨーク州マンハセット
米国

症例報告 13

ケアの実際

腸蠕動によって、陥没するストーマを管理するため、ストーマ装具を二品系平面面板(長期装着用、フリーカット)から、二品系硬性凸面型面板「ニューイメージ セラプラス 凸面 (フリーカット)」に切り替えました。

結果

セラプラスに切り替えてから3週間後、皮膚の炎症はほぼ完全に改善され、患者はかゆみを訴えなくなりました(写真2)。患者は引き続き採便袋を空にする作業を自分で行っていました。が、面板の交換はやはり嫌がりました。

結論

ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方がないこととしてそれらの問題を受け入れています³。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマの周囲に適切に密着させ、漏れを防ぐことが重要です。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge. J Wound Ostomy Continence Nurs. 34(1):70. 2007.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study. PLoS ONE. 2012; 7(5):e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G. A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面 (フリーカット)」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者に適応となるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。

 すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホリスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated



Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com